

二之門は、岐阜城の上部を守る大きな防衛門である。門はもともと山の数メートル下の階段の下にあり、そこには自然石の一部が見えていた。門の中には下台所（シタノイロ）があり、そこで織田信長（1534–1582）の家臣たちが生活をしていた。